

2022年1月6日発行

神奈川イグレンの活動状況を伝える機関紙

神奈川イグレンニュース〈第225号〉

発行：神奈川県異業種連携協議会（議長 金究武正）

発行責任者：専務理事 芝 忠 編集：事務局長 愛賢司

〒231 - 0015 横浜市中区尾上町 580 神奈川中小企業センタービル 7F

TEL/FAX 045-228-7331 <http://www.kanagawa-igren.com>

（目 次）

- 新年のご挨拶「本年を力強い年へ」 (1頁)

神奈川県異業種連携協議会専務理事 芝 忠

- 川崎異業種研究会定例会(10月・11月)報告 (2頁)

- 第83回アジアビジネス探索セミナー (5頁)

報告1 ミャンマー軍のクーデター1年後の現実

— ASEAN, 笹川財団が進める解決策はうまく進むのか —
ミャンマージャポン(株) CEO 永杉 豊

報告2 ミャンマーで工場を経営して見て解かるクーデターの現実

— 潜入してミャンマーの内戦状況の現実を見る、どこにあるこの国の解決策 —
(株)小島衣料 オーナー 小島正憲

報告3 2021年の日本企業のアジア投資状況

アジアビジネス探索者 増田辰弘

- 神奈川県異業種連携協議会講演会 (6頁)

「ソニー復活の舞台裏」— どの企業にでもある復活のチャンス—

講師 株式会社ワンダーワークス 代表取締役 田村慎吾 氏

本年を力強い年へ

神奈川県異業種連携協議会

専務理事 芝忠

コロナ禍の動向が新たなオミクロン株の登場で感染率が急上昇しています。本年の見通しがはっきり掴めませんが、十分気を付けなければなりません。次から次へと新しい“株”が現れてきて、素人にはギリシャ文字の数だけ出てくるのかしらと思ってしまう程です。(笑)

異業種交流を活用して新しい連携や情報探しを行なおうとする当イグレン(神奈川県異業種連携協議会)にとっては想定以上の打撃でした。各種サロン・研究会・フォーラム等が中止や延期に追い込まれ、相談や情報提供も思うように行かず、中小企業センターの会議室まで使用不可(県庁のコロナ対策室が設置された)となり、雌伏を余儀なくされました。ようやく去年の10月ころから各種会合が再開され、ほっと一息ついている有様です。情報というのは確かに文献やらオンライン活用で入手可能ですが、「直接肌に触れ合った交流」のメリットは、やはり「感じる」なかでの細かな動きや雰囲気・思い違いの修正・思わぬ情報交流など、「信頼性」の向上が大いに期待されます。かつて大手企業の技術担当者会議を行なった時、発言のチェックに監視役が出席したことがありますし、技術相談でまるっきり見当違いの試験・検査を依頼されてきたこともありますし、最近流行りの異業種交流会と称する「名刺交換会」の一過性・形式的交流会の限界など、直接相対する深い交流の意義・重要性は今日でも失われておりません。日本の総理大臣も態々アメリカまで訪問するではありませんか。(笑)

色々な困難を乗り越え、価値ある情報交流の場づくりをしながら皆様とともに本年も前向きに前進していきたいと思えます。



【川崎異業種研究会通信】 10月勉強会・定例会を開催

10月は「障がい者雇用」をテーマに、7日（木）にミューザ川崎にて勉強会、14日（木）に当所にて定例会を開催した。両日とも、社会福祉法人県央福祉会企業応援センターかわさき 所長 荒木伸義氏並びに川崎市健康福祉局障害保健福祉部障害者社会参加・就労支援課 雇用就労推進担当係長 山田征子氏を講師に迎えて講演をいただいた。

勉強会では『障がい者雇用～就労体験に関する仕組みや、各種企業に依頼したいことなどの概要』と題して、川崎市障害者等雇用推進・就労援助事業並びに短時間雇用プロジェクトや障害者雇用に対する企業への受入依頼等を中心に、定例会では『障がい者雇用～就労体験や就職を受け入れている企業の実例紹介』と題して、事業実践報告や雇用事例、今後の事業方針等を中心にテーマとした。（勉強会・定例会における各講師の講演要旨は次の通り）

【川崎市健康福祉局 山田征子氏】

川崎市の障害者数は62,508人（令和2年4月現在）。企業や自治体等では、障害者雇用（1週間の所定労働時間が20時間以上）の法定雇用率が定められているなか、障害者の心身のコンディションや家庭の事情により、週20時間未満で働きたい方の就労が課題となってきた。

川崎市では、関係機関との連携のもと、短時間雇用プロジェクトを立ち上げ、川崎就労定着プログラム（K-S T E P）等の独自のツールにより、就労体験から求職支援、職場定着支援と段階を踏んだ「障害就労支援かわさきモデル」を平成26年から実践している。特に就労体験は重視しており、実際に参加した障害者や受入企業から高評価を頂き、着実に成果を上げている。



【短時間雇用プロジェクトについて説明（山田氏）】

【企業応援センター 荒木伸義氏】

社会福祉法人県央福祉会（本部：大和市）は県内143事業所を運営し、2019年度に川崎市より委託を受けて、企業の障害者雇用窓口として「企業応援センターかわさき」を運営している。

川崎市障害者等雇用推進・就労援助事業は、①雇用相談事業：中小企業を中心とした障害者雇用の相談窓口、職場体験及び各種サポート、川崎市障害者雇用促進ネットワーク会議等を実施。

②短時間雇用事業：2016年度から東京大学先端科学技術研究センターとの協力により始めた短時間雇用創出プロジェクトを元に、障害者の週20時間未満の短時間雇用に関する支援を行い、マッチング率約70%と高い成果を上げている全国に先駆けて川崎で始められたモデル事業。

③就労体験事業：NPO法人との協働事業で川崎フロンターレや川崎ブレイブサンダースなどスポーツやイベントにおける就労体験、川崎市・和光大学地域連携研究センターとの連携により教育現場で障害者の就労体験を実施する就労体験教育モデル事業等の3事業で成り立っている。

事例紹介では、レイモンド中原保育園、北野書店、大原商店、ヒラミヤ、日通商事の雇用例を通じて、中小企業における障害者の短時間雇用の様々な実例が紹介された。

講演終了後も、参加者より具体的な雇用内容・待遇面、雇用希望の障害者の状況、障害の度合いに応じた社内バリアフリー対策など、活発な質疑応答が行われ、非常に有意義な勉強会・定例会となった。



【全国に先駆けた「かわさきモデル」を紹介（荒木所長）】

【川崎異業種研究会通信】 11月定例会を開催

11月11日（木）、当所にて11月定例会を開催した。今回は会員の山勝電子工業(株) 代表取締役社長 金究武正氏、同事業本部副本部長 青木清和氏より「JR向け車両ブレーキシステムの開発・製造について」と題して、会社説明と最新の事業紹介がなされた。

同社は1973年川崎市にて設立し、プリント基板設計事業を創業。研究・開発に重点的に取り組み、新潟に開発センター、長岡・六日町に情報センター、宮城にR&Dセンターを開設し、創業40周年目に横浜工場を新設。近年IoT関連機器分野など新規事業に取り組むなか、2017年にJR東日本コンサルタンツ(株)より保線関連装置を受注。2019年に「品質の日」優良協力会社として感謝状を受け、2020年にはJR貨物より貨車の安全対策「手ブレーキ検知システム」の量産を受注するなど、JRグループから高い評価を得て、鉄道事業における実績を積み重ねてきた。

青木副本部長より新規事業について、JR向けブレーキシステムの設計・開発・製造に至る過程の他、鉄道事業特有の情報やIoT事業に関する貴重な説明があり、参加者一同熱心に聴き入った。

定例会に続き、菅原会長挨拶、小林副会長の乾杯の後、懇親会に入った。コロナ禍にて休会を続けてきた恒例の懇親会の再開に、参加者一同交流を深め、野見山副会長の挨拶により盛況のうちに閉会となった。



【定例会：J R向け I o t 事業を学ぶ】



【懇親会：野見山副会長より閉会挨拶】

激変するアジアを追いかけてみませんか

アジアを活用した新しい企業、日本人の生き方を探る

● アジアビジネス探索セミナー

発行人 増田 辰弘

毎月のようにアジアに出かけておられますと、気が着くのは変化が大変大きなアジア経済です。新しいビジネスの流れをゲストを招いたかたちで探索する「アジアビジネス探索セミナー」を企画いたしました。ご興味をお持ちの方はぜひご参加ください。

日 時 2022年3月18日(金) 18:00-20:00

場 所 中央区八重洲1-8-17 新槇町ビル6F

(八重洲地下街18番出口直通) 03(5542)1989

ビジネストランスファー会議室 (東京駅八重洲北口徒歩1分)

1 ミャンマー軍のクーデター1年後の現実

— ASEAN, 笹川財団が進める解決策はうまく進むのか —

ミャンマー ジャポニ(株) CEO 永杉 豊

2 事例報告 ミャンマーで工場を運営して見て解かるクーデターの現実

— 潜入してミャンマーの内戦状況の現実を見る、どこにあるこの国の解決策 —

(株) 小島衣料 オーナー 小島 正憲

3 2021年の日本企業のアジア投資状況

アジアビジネス探索者 増田 辰弘

3 会費 3,000円

(当日、受付でお支払いください。)

※ お申し込み/お問い合わせ先

氏名とさしつかえなければ、所属先、部署・役職、ご連絡先を明記の上、

メールあるいはFAXで 事務局までお申込ください。事前の申込をお願いいたします。

※ ◇◇3/18(金)18:00~ 「アジアビジネス探索セミナー」参加申込書

氏名:

会社名:

部署/役職:

TEL:e-mail:

※ 送付先・ アジアビジネス探索セミナー事務局

090-4124-2496

FAX03(3659)7077

e-mail. i-daruma@igarashireport.com

神奈川県異業種連携協議会講演会 (第57回海老名サロン)

日時 2022年2月22日(火) 午後3時より

会場 神奈川中小企業センター13階第2会議室

後援 神奈川県中小企業家同友会

「ソニー復活の舞台裏」

— どの企業にでもある復活のチャンス —

講師 株式会社ワンダーワークス代表取締役 田村慎吾 氏



早大理工学部でロボット工学習得、ソニー(株)入社、音響機器開発、CD-ROM開発、未来商品研究開発、パソコン系事業部長、二足歩行ロボット「キュリオ」開発等に携わる。ワンダーワークスを創業し、教育事業(慶應義塾大、早大、北大、湘北短大講師)、企業顧問約30社。

社会貢献事業として日本創造学会会長、NPO北海道活性化センターTactics副代表理事、アジアビジネス研究所副所長。

(著書)

- ・『二宮尊徳と創造経営』
- ・『ソニー的な生き方とイノベーション』
- ・『実践的MOTのススメ』

参加費 3,000円

出確認席 1 講演会 2 交流会 *〇をお願いします。

(所属・氏名・TELご記入ください)

FAX 045-228-7331 email aikenji1024gma